

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2018年2月18日曜日 23:04
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月18日発行

◆-----◆
中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2018年2月~~15~~¹⁸日発行
◆-----◆

【シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回の参加申し込み】

詳細は、<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。

多くの会員の皆様のご参加をお願い致します。

10:00～または10:30～開催の名古屋テレビ塔見学会に参加をご希望の方は、できれば早めに参加のお申し込みをお願い致します。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】

<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】

<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【中部産業遺産研究会の書籍のご案内】

<http://csih.sakura.ne.jp/syoseki.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申し込み受付中】

【3】第151回定例研究会／見学会のご案内【あと8名まで受付可能です】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回 2018/3/3（土）10:00～（見学会） 13:00～（シンポ）
会場：栄ガスビル
- 第151回定例研究会／見学会 2018/3/4（日）松阪市の丹生鉱山と立梅用水（10:00 松阪駅集合）
参加費 3000円（バス代・保険代・手土産代を含む）
- 第26回総会・第152回定例研究会 2018/05/19（土）予定 13:00～17:00 名城大学校友会館会議室
- 産業考古学会 2018年度総会 2018/05/25-27 栃木県足尾で予定

【2】シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回のご案内【参加申し込み受付中】

シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第36回を次の通り開催致します。

参加申し込みの受付中です。会員の皆様、会員外の皆様のご参加をお待ちしております。

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

にございます。

また、参加申し込みフォームへのリンクも上記ホームページにございます。

テーマ 「名古屋テレビ塔の新たな旅立ち ―ランドマークとしてのこれまでとこれから―」
名古屋テレビ塔は、昭和 28 (1953) 年 9 月から着工され、翌 29 (1954) 年 6 月竣工開業した日本初の集約電波塔です。戦後復興のシンボルでもあるこの塔は、名古屋中心部のランドマークとして欠かせないものになり、市民の多くに親しまれています。この設計者の内藤多仲博士は、耐震構造の父と称され、大正期の関東大震災にも耐えた歌舞伎座や、戦後の東京タワーも含めて生涯に 60 以上の塔を構造設計し、塔博士とも称されます。名古屋テレビ塔は平成 23 年 7 月 24 日には「テレビ塔」としての役割を終えましたが、国の登録有形文化財にも登録されており、価値の高い存在です。そのため、新しい耐震基準に適合させる改修免震工事が計画されています。その準備の中で多数の資料が再認識されました。
今回、この資料調査を通して、内藤多仲博士の足跡を含め、私たちは名古屋テレビ塔の記録継承すべき歴史について認識を深めたいと思います。
そして、今後の修復や保存、さらに活用の仕方などを、参加者のみなさんと共に考えましょう

日時 2018 年 3 月 3 日 土曜日 13:05~16:45
会場 栄・ガスビル 5 階キングルーム (定員 132 名)
参加費 資料代+会場費 会員・学生・後援団体関係者 1,000 円、一般 1,500 円
見学会 シンポジウム当日の午前中にテレビ塔の見学会を実施。申し込み多数の場合は抽選。
定員 40 名 (第 1 班: 10:00~ 20 名、第 2 班: 10:30~ 20 名)
見学会参加費: 500 円 (見学会参加費のみ現地にて参加費を集めます)
懇親会 17:30~19:00 参加費: 5000 円
場所: 栄ガスビル 地下 1 階「しら河」

詳細は

<http://csih.sakura.ne.jp/nitigi.html>

を御参照下さい。

【3】第 151 回定例研究会／見学会のご案内【あと 8 名受付可能です】

【あと、8 名様のお受けが可能ですので、参加希望の方はお申し込みお急ぎ下さい】

2018 年 3 月 4 日開催の第 151 回定例研究会／見学会は、2017 年 10 月 29 日に台風で中止となった産業考古学会の全国大会の見学会で行く予定であった丹生鉱山と立梅用水などの見学を致します。詳細は次の通りです。

2018/03/04 (日) 10:00、松阪駅西口集合、1530 松坂駅現地解散
10:00、松阪駅集合、マイクロバスで出発
10:45、丹生鉱山坑口あと
11:20、立梅用水 (塔ノ本トンネル、ピオトープ周辺)
11:50、勢和町郷土資料館 (水銀関係コーナー)
12:30、立梅用水井堰 (井堰横の「道の駅茶倉駅」で昼食休憩を兼ね見学、弁当持参)
13:30、中電波多瀬発電所 (初期のフランス水車展示)
14:40、櫛田川突堤 (長大な石積突堤)
15:30、松阪駅着、現地解散
参加費 3000 円 (バス代、保険、手土産等含む) 当日集金

申し込み方法

必要事項を書いた FAX かメールで申し込みすること。定員 25 名になり次第締め切る。

必要事項: ①氏名、②住所、③連絡先、④生年月日、⑤所属

申し込み先: 天野武弘 FAX 0533-85-1010 (FAX 専用)

E-mail: amano-ta07@pro.odn.ne.jp

--



中部産業遺産研究会のニューズレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹

E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。
このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
<https://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。
その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。